

栗原地域だより

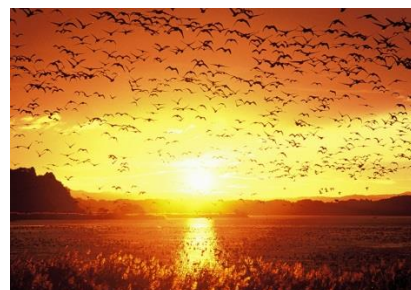
第 23 号

平成 28 年 1 月 5 日発行

目次

- 「くりはら MMN 塾」販売戦略実践講座（第 1 回）を開催しました p1
- 栗原地方青年文化祭「バンドフェスティバル 2016」が
開催されます p2
- 冬の渡り鳥にちょっと注目してみませんか p2
- 「くりこま絆の森植樹プロジェクト」植樹会が実施されました p3
- 乗っこ農協各地域の枝肉研究会・勉強会が盛会裡に開催されました p4
- 国道 398 号の冬期通行止めと春の早期開通を目指した取り組み p5
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p6

伊豆沼のガンの飛び立ち



「くりはら MMN 塾」販売戦略実践講座（第 1 回）を開催しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

開催 3 年目となる「くりはら MMN 塾」では、岩手志援株式会社代表取締役の鈴木勝美氏を講師に招き、11 月 25 日（水）に販売戦略実践講座（第 1 回）」を開催し、栗原管内の 6 次産業化実践者 11 名が参加しました。

鈴木勝美氏は岩手県を中心に商品開発や販売支援に携わり、農村振興や地域特産品開発等に大きな成果を上げています。

講演では「お母さんたちが挑む 6 次産業化」として、岩手県矢巾町の「3ちゃん矢次工房」の事例紹介がありました。昔ながらの味噌加工からスタートし、その後、ビジネスとしての取組へ変化した事例が取り上げられ、地方から出たことがないお母さん達が都会で商談会に挑戦するなど、楽しみながら悪戦苦闘している姿が臨場感たっぷりに紹介されました。



興味深い事例を熱心に話す鈴木先生

また、「6 次産業化の基本」として「気がつく」ことの大切さ、「一事が万事」でラベルの貼り方や陳列の方法など細かい気配りが差別化の重要な要因となること、「思い込み」をはずすこと、そして何よりも「ワクワクする」取り組みをすることが大切だということ学び、受講者は大きな刺激を受けたようでした。

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel: 0228-22-9437

栗原地方青年文化祭「バンドフェスティバル2016」が開催されます

北部教育事務所栗原地域事務所

地域の芸術文化事業として、企画から当日の運営まで、青年たちが主体となって行う栗原地方青年文化祭が、1月31日（日）午前10時から若柳総合文化センターで開催されます。イベントのメインとなる「バンドフェスティバル」は、栗原圏域及び近隣の軽音楽愛好家による演奏発表で、今年で19回目となります。練習場所や時間を確保し熱心に活動している青年バンド10団体が、思いを込めて演奏します。文化祭実行委員会が、事前の広報から準備、当日の運営を中心となって進め、軽音楽の鑑賞機会を提供するとともに、参加者相互の交流を図っています。



昨年度の発表の様子

また、今年度は栗原市制10周年ということで、「栗原の魅力」をテーマに作品（絵・写真・イラスト等）を募集しており、軽音楽活動の写真や映像と併せて展示部門で紹介する予定です。

チケットは、前売り500円（当日700円）、中学生以下無料となっています。※展示部門は無料。

■お問い合わせ

バンドフェスティバル実行委員会（熱海） 0228-22-3933

または、北部教育事務所栗原地域事務所 教育班 0228-22-2132

冬の渡り鳥にちょっと注目してみませんか

北部地方振興事務所栗原地域事務所

今シーズンも栗原市内にたくさんの冬の渡り鳥（冬鳥）がやってきています。そして今月は例年、その数が最も多くなる月です。代表的な冬鳥はマガンやオオハクチョウで、伊豆沼・内沼を主なねぐらにし、日の出とともに周辺の水田へ飛び立っていき餌をついばんだり休んだりします。家の上をハクチョウが飛び過ぎたり、田んぼにマガンがたくさん降りるのは栗原市民にとっては身近な冬の風物詩と言えるでしょう。



安心して田んぼでくつろぐマガンたち

(写真提供 嶋田哲郎氏)

実は、この「冬の風物詩」には理由があります。マガンは全国の飛来数の約9割、オオハクチョウは約5割が宮城県に飛来し、その多くが伊豆沼・内沼に集まってくるため、他の地域ではほとんど見るできない風物詩となっているのです。

これは、栗原市の自然環境が豊かで、安心して冬を過ごせる場所であると鳥たちが認めてくれている証です。

伊豆沼・内沼は、昨年、ラムサール条約湿地登録から30年を迎えました。この貴重な風景がいつまでも見られるよう、野生生物であるマガンやオオハクチョウなどとの適度な距離を保ちつつ、見守っていきましょう。

■お問い合わせ 林業振興部 森林管理班 Tel: 0228-22-2133

「くりこま絆の森植樹プロジェクト」植樹会が実施されました

北部土木事務所栗原地域事務所

平成20年6月の岩手・宮城内陸地震に伴う土砂災害で被災した耕英東地区（駒の湯温泉付近）において、地域住民や関係団体及び官庁により組織された「くりこま絆の森植樹プロジェクト」による植樹活動が実施されました。

この取組みは、失われた緑地の再生と堆積した土砂の流出防止を図ることを目的としたものであり、10月21日に約60名が参加し、ハンノキの苗木約50本を植樹したほか、付近の山で採取したミズナラ、トチ等の種まきを行いました。

非常に良い天気の中、予定どおり無事終了することができました。ご参加いただいた皆様には、紙面をお借りして感謝申し上げます。



全体集合写真（破線丸印は植樹箇所）

■お問い合わせ 河川砂防班 Tel: 0228-22-2193

E-mail: nh-khdbkks@pref.miyagi.jp

栗っこ農協各地域の枝肉研究会・勉強会が盛会裡に開催されました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗っこ農協及び栗っこ農協仙台牛肥育部会主催による枝肉研究会が金成・栗駒支部を皮切りに各支部等で開催されました。枝肉研究会は、出品された枝肉に対する審査・評価を通じて、生産者が自ら学び、優れた牛づくりを目指すために開催しています。

最も高い肉質の評価を受けた受賞者、会の全体成績は、下記のとおりです。

1 栗っこ農協「仙台牛」金成栗駒支部枝肉研究会

開催日：平成27年11月24日

場 所：東京都「東京都中央卸売市場食肉市場」

最優秀賞：佐々木 吉司さん

脂肪交雑 12（12は、霜降りの度合いが最高ランク）

枝肉重量 561kg

全体成績：24頭出品 仙台牛率^{※1}62.5%

上物率^{※2}91.7%



枝肉勉強会審査の様子(H27.12.3)

※1 脂肪交雑や肉・脂肪の色沢など肉質等級が最高ランクのA・B5に格付けされた銘柄牛（仙台牛）の割合

※2 肉質等級がA・B4以上と高い品質評価を受けた肉の割合

2 栗っこ農協「仙台牛」若柳支部枝肉研究会

開催日：平成27年12月1日 場 所：東京都「東京都中央卸売市場食肉市場」

チャンピオン賞：菅原 文男さん 脂肪交雑 11、 枝肉重量 522kg

全体成績：24頭出品 仙台牛率 58.3%、上物率 87.5%

3 栗っこ農協「仙台牛」南部志波姫支部枝肉研究会

開催日：平成27年12月7日 場 所：東京都「東京都中央卸売市場食肉市場」

最優秀賞：三塚勇喜さん 脂肪交雑 11、枝肉重量 472kg

全体成績：24頭出品 仙台牛率 70.8%、上物率 100%

4 栗っこ農協「仙台牛」枝肉勉強会

開催日：平成27年12月3日 場 所：仙台市「仙台市中央卸売市場・食肉市場」

チャンピオン賞：千葉隆行さん 脂肪交雑 12、枝肉重量 529kg

全体成績：26頭出品 仙台牛率 76.9%、上物率 96.1%

栗っこ農協、栗っこ農協仙台牛肥育部会では、今後も栗原産仙台牛の銘柄確立や消費拡大などに向けて取り組んでいきますので、皆様の応援につきまして、よろしくお願いいたします。

全体成績：24頭出品 仙台牛率（肉の格付けA・B5以上）62.5%、上物率（肉の格付けA・B4以上）



チャンピオン賞の枝肉(H27.12.3)

■お問い合わせ

畜産振興部 畜産振興班 Tel：0228-22-2487

国道 398 号の冬期通行止めと春の早期開通を目指した取り組み

北部土木事務所栗原地域事務所



位置図



雪崩観測システム



なだれ沢

スノーシェッド下部工（手前）と雪崩防護擁壁（奥）



雪崩誘発シート

対策状況

国道398号の栗原市花山本沢温泉から秋田県境までの14.4km区間と秋田県側の12.8kmが、平成27年11月27日（金）正午から冬期閉鎖に入りました。

閉鎖に先立ち早期開通の課題である雪崩発生危険箇所（通称なだれ沢）について、雪崩観測システムと、昨年の春に効果の認められた雪崩誘発シート張りを昨年の1,060㎡から2,810㎡に増やして設置する等の対策を完了しました。

恒久的対策として、現在、スノーシェッド工事を進めておりますが、施工途中で冬を越す下部工（コンクリート壁）を雪崩から守るため、雪崩防護擁壁（ジオスノーウォール）を設置しました。この雪崩防護擁壁により、春先の少ない積雪深であれば雪崩が発生しても、道路への影響を大幅に軽減できるため、早期開通にも寄与することとなります。

この他に閉鎖期間中の予備除雪や、栗原市消防の協力による、春先の放水作業等により早期の冬期閉鎖解除を目指します。

■お問い合わせ 道路管理班 Tel：0228-22-2179

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 27 年 10 月 26 日～12 月 14 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

10 月 26 日から 12 月 14 日までの間に農林産物 29 点を簡易検査し、すべてが食品の基準値 (100 ベクレル/kg) 以下で、基準値の 2 分の 1 (50 ベクレル/kg) を超え、精密検査が必要になる食品もありませんでした。

このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの (10/26～12/14)

| 農産物 | | | 林産物 | | | |
|-----------|----|----|--------|----|----|----|
| 品名 | 施設 | 露地 | 品名 | 施設 | 露地 | 野生 |
| あずき | — | ◎ | 原木ヒラタケ | — | ◎ | — |
| おかのり | ◎ | — | 自然薯 | — | — | ◎ |
| かき | — | ◎ | | | | |
| かぶ (2点) | — | ◎ | | | | |
| キャベツ | — | ◎ | | | | |
| きゅうり (2点) | ◎ | — | | | | |
| グリーンボール | — | ◎ | | | | |
| さといも | — | ◎ | | | | |
| じゃがいも | — | ◎ | | | | |
| セロリ | — | ◎ | | | | |
| ターサイ | — | ◎ | | | | |
| だいこん (3点) | — | ◎ | | | | |
| 高菜 | — | ◎ | | | | |
| つぼみ菜 | — | ◎ | | | | |
| にんじん (2点) | — | ◎ | | | | |
| 野沢菜 | — | ◎ | | | | |
| はくさい (2点) | — | ◎ | | | | |
| ピーマン | — | ◎ | | | | |
| フロッコリー | — | ◎ | | | | |
| ヤーコン | — | ◎ | | | | |
| りんご | — | ◎ | | | | |

◎：基準値以下 —：検査未実施

| ※放射性セシウム濃度基準値 | |
|---------------|--------------|
| 食品群 | 基準値(1kg あたり) |
| 飲料水 | 10 ベクレル |
| 乳児用食品 | 50 ベクレル |
| 牛乳 | 50 ベクレル |
| 一般食品 | 100 ベクレル |

詳しくは厚生労働省 HP を
ご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/shinsaai_jouhou/shokuhin.html

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel: 0228-22-9437 (農産物)

林業振興部 林業振興班 Tel: 0228-22-2381 (林産物)

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 (地方振興部)

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel: 0228-22-2195(直通) Fax: 0228-22-6284

E-mail: nk-khsinbk@pref.miyagi.jp

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号 (第 24 号) は 3 月 1 日発行予定です。